

多機能型事業所 HOKKAIDOの概要 2024 (R6) 年度きなはれサビ管・児発管基礎研修 配布資料1-③

事業所所在地の環境	人口は約10万人 人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。市役所までは車で20分 中心地まではバスで15分程度 産業は、新都市開発による工場誘致により製造業が増加傾向であるが小売業、農業などもあり、バランスよく整っている。公共交通機関は、バス、鉄道があるが、自動車が移動手段の中心である。
地域の社会資源の状況	障害福祉サービスは、市内の社会福祉法人、NPO法人、株式会社などにより就労継続支援A型・B型事業所、就労移行支援、生活介護、生活訓練、の各事業が整備されている。相談窓口として、障がい者相談支援センター1か所、特定相談事業所8か所、障害者就業・生活支援センターが1か所ある。
事業所の概況	多機能型事業所 就労移行支援事業10名 就労継続支援B型事業 20名 現在の利用者は身体・知的・精神など多様な障害種別の方が利用し、近年発達障害の方が増加している。共同生活援助NANGOからはバスで10分程度（徒歩40分）の距離である。
職員構成	管理者1名（50代） サービス管理責任者1名 北村達也（30代男性） 職業指導員3名（40代男性、20代女性、30代女性P） 生活支援員2名（30代女性、20代男性） 就労支援員1名（30代男性）
開所状況	平日 9：30－16：00 昼休憩1時間 土日祝日休み ただし、地域イベント時などは土日開所することあり
作業内容	カフェ（接客・調理補助・皿洗い等） 工賃 200－400円 PC打込み作業、箱折、組立、ポスティング 等軽作業 工賃 200－400円 施設外就労（運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業） 400－580円

事業所所在地の環境	人口は約10万人 人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。市役所までは車で20分 中心地まではバスで15分程度 産業は、新都市開発による工場誘致により製造業が増加傾向であるが小売業、農業などもあり、バランスよく整っている。公共交通機関は、バス、鉄道があるが、自動車が移動手段の中心である。
地域の状況	住宅街の一角にあり、すぐ隣に公園がある。徒歩5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、バス停まで徒歩3分、JRまで徒歩15分程度
事業所の概況	共同生活援助事業所 (介護サービス包括型) 夜間は連絡体制のみ 常駐なし 入居定員4名 現在 男性4名入居中 建物 戸建て住宅 5LDK (居室8畳)、共有スペース (リビング・世話人室) 風呂、トイレ、洗面所、キッチン は共有 朝食 (300円) ・夕食 (500円) 事前申込制にて提供 土日は提供なし
職員構成	管理者1名 (50代) サービス管理責任者1名 麻生正子 (40代女性) 他のGHも兼務している 生活支援員 西川 浩 (30代男性) 世話人 豊田のぞみ (50代女性)
職員の勤務状況	世話人 豊田のぞみ 平日 6:00~9:00 15:00~20:00 (1日8時間) 生活支援員 西川 浩 他のGHと兼務 巡回して必要に応じてGHで対応 サビ管 麻生 正子 他のGHと兼務 必要に応じてGHで対応